



庁舎1階にある「結のひろば」は、市役所と多目的ホール棟、JR花輪線北森駅、駐車場をつなぎ、市民協働・交流の拠点となるスペース。市役所エントランスホール、駅待合室、多目的ホールロビーとしても活用されます。ここを基点に、市民活動などに利用される多目的ホールと執務室が両翼に位置します。

2階は執務部門のほか、市長室などを配置。3階には、議会審議を真横から傍聴できる斬新な市議会議事堂議場と、見晴らしのよい展望スペースを設けた議場ロビーがあります。傍聴席からは議場全体を見渡やすく、活発な議論が生まれる環境となっています。

市役所と多目的ホール棟を覆うなだらかな形状の屋根にも、技術と機能が結集しています。2階の緩やかな勾配屋根の軒先にはヒーターを設け、凍結時には樋で落雪を防ぐなど、雪国ならではの工夫を施しています。

また、冷暖房設備は市役所の建物杭基礎を利用した地中熱採熱システムを採用し、環境への配慮に努めています(詳しくは16ページ)。

「役所仕事」ではない、「人がつながらる」場所



3町村合併により八幡平市が誕生して10年。合併協定に盛り込まれた最重要事業の一つである新庁舎が完成しました。新庁舎のコンセプトは「つなぐ」。これには、5つの意味が込められています。

- 市役所・多目的ホール棟・JR花輪線北森駅を「つなぐ」
- JR花輪線を介して西根・松尾・安代の3地域を「つなぐ」
- 雄大な自然景観を背景に、庁舎を風景の中で「つなぐ」
- 地産地消のデザインで、地域の活力を施設整備に「つなぐ」
- ユニバーサルデザインで、人と人、心と心を「つなぐ」